

# 日々 エスターライン流

# 目次

## 3 CEOからの手紙：カーティス・ロイ セール

## 4 セクション1：はじめに

### 5 本規範について

5 「エスターライン流」とは？

6 なぜ規範があるのか？

6 規範の適用対象は？

6 質問があるときや懸念事項を報告する際  
の連絡先は？

6 正直に報告した場合の結果はどうなりま  
すか？

## 8 セクション2：当社の価値観および 原則

### 9 約束の実現

9 優れた製品品質

10 製品の安全性

10 納期の厳守および文書の正確性維持

### 10 互いに信頼し、尊敬し合う

10 常に敬意を払う職場環境

11 職場の安全性

11 情報保護とプライバシー

11 知的財産および機密情報の保護

12 会社資産の保護

13 エスターラインのために発言する

13 ソーシャルメディアの適切な使用

14 地域活動、政治への関与、および政治献金

### 15 健全性と倫理的行動の活用

15 業務上のもてなし (贈答品、娯楽および接待)

16 業務上のもてなしを受ける

17 贈収賄および腐敗行為

19 正確な報告と記録

20 公正な財務記録

21 利益の相反および不適切な影響

### 23 法律と規制への準拠

23 公正な競争

24 インサイダー情報と証券取引

26 輸出入および貿易のコンプライアンス

27 行政機関との契約 (政府契約)

27 環境コンプライアンス

27 人権

## 28 セクション3：誠実な文化の共有

29 倫理に関する相談先と利用方法

31 EU 圏内における問題の報告

31 善意による報告の支援

# CEOからの手紙： カーティス・ロイセール

従業員各位：

私たちが約束を実践し、あらゆる人に礼儀正しく対応し、あらゆる場面で法を遵守し、倫理的な行動をとることは、エスターラインの企業文化と事業戦略の要です。私たちがお客様、サプライヤー、他の従業員と関わる業務や日常生活の中でこれらの原則を体現していくことにより、取引関係者の皆様方により大きな価値を提供できるのです。相手が重要なクライアントであれ、個人的な友人であれ、子供の学校の先生であれ、私たちが「エスターライン流」と呼ぶエスターラインの価値システムを土台とし、当社のコアバリューと運営システム基準を活用すれば、以下のようなことの実現につながります。

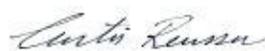
- ▶ 個人および製品の基準を高く設定する
- ▶ あらゆる場面でチームワークと説明責任の精神を意識する
- ▶ 日常業務における一体化と協力
- ▶ 研修や能力開発への注力
- ▶ オープンな双方向コミュニケーション

世界はますます複雑さを増しています。めまぐるしく変化する環境でグローバル企業として事業を展開するエスターラインは、チームのメンバー1人1人を信頼し、当社の価値システムに取り組みながら日々エスターライン流を実践してその恩恵を現実のものにしていくのです。従業員同士が互いに相手を尊重しながら業務を遂行

し、あらゆる場面で高い品質を実現し、当社の健全性を確実にすること、また自分以外の従業員も同じように行動していることを認識し、常に当社のビジネスと環境を統括する規則と規制を意識すること、これらが当社の目標とするところです。

疑問を持ったときは、相談先に相談することが重要です。従業員に求められていることを理解するために、本規範をお読みください。さらに詳しい情報が必要な場合は、上司または担当の倫理アドバイザーに相談してください。また、法律やエスターライン流の原則に抵触するおそれがある行為を知り得た場合は、エスターラインの倫理とコンプライアンスのヘルプラインをご利用ください。本規範の小冊子は、あなたの疑問に答えるためのツールの1つとなります。

私たちは常に真摯に行動し、例外なく法律や規制を遵守することを求められています。このことは、当社のビジネスと成功において極めて重要であり、妥協することはできません。当社には、当社の従業員と製品の健全性を信頼する多数の取引関係者がいます。その皆様方を失望させてはなりません。ともに日々エスターライン流を実践していきましょう。



カーティス・ロイセール, CEO



# セクション1：はじめに

## 本規範について

エスターライン倫理と企業行動規範(本規範)の主要な方針は、日々エスターライン流を実践することです。そうすることで、以下の点に高い基準を反映することができます：

- ▶ 私たちが行う業務と組織のために私たちが選ぶ人材
- ▶ お客様、サプライヤー、他の従業員との関係、居住するコミュニティとの関わり
- ▶ 当社製品の製造と従業員のサポート

### 「エスターライン流」とは？

「エスターライン流」とは、組織の強さと成功のための原点であり、高い業績と健全性を誇る当社の企業文化を再認識するために使われる言葉です。当社の価値システムの中心となる信条は、私たち自身が高いパフォーマンスレベルを維持し、常に真摯に行動し、あらゆる場面で他の人や法律を尊重することです。さらに、私たちはお客様、従業員、株主の皆様といった当社の取引関係者にとって業界最高クラスの貴重なパートナーであり続けられるように努力を重ねています。本規範の価値観と原則は、エスターライン流の基盤です。

当社の企業文化は、会社リーダーの行動、従業員による選択、および当社の業務慣行とその関連性により、日々新たに強化されています。私たちは、ビジネス上の判断の指針として、また当社を長期的な成功に導く原動力として、エスターライン流を主軸と考えます。当社の理念の主な特徴を以下に紹介します。

- ▶ **高い基準** - 私たちは優れた製品を作り、優れた人材を採用し、最善の倫理を持って行動します。私たちはより良い結果を目指し、改善に努め、正しい行動を持って世界に通用する評価を得ることを目標とします。
- ▶ **チームワークと説明責任** - 私たちは結果を重視し、実際的な観点と協力により、無駄を省く姿勢をもって成功を目指します。
- ▶ **一体化と協力** - 社内や自身の業務で当事者意識を持ち、自分の周囲の人々を尊敬し、信頼します。
- ▶ **研修と能力開発** - 人との関わりと、従業員の資質を高め、成長と前進に寄与する相互関係を大切にします。
- ▶ **オープンな双方向コミュニケーション** - 謙虚な姿勢を持って他人の意見に耳を傾け、効果的なコミュニケーションにより、最善の解決策を見出します。

## 倫理的な判断を行う

規範は、倫理的問題が起こるすべての状況に対処することはできません。正しい選択、つまり倫理的にどのような判断をすればよいのかがよくわからない場合は、以下の点を考えてみてください。

### 規範はどのように規定しているか？

その状況に対処できる規定がなくとも、関連する一般原則は記されていないですか？

**適用される法律または規制があるか？** 法律または規制による要件がある場合は、正しいと思うことを行うだけでなく、それらに従うことが重要です。法的要件が自分の業務に適用されるかどうか不明な場合や法律の内容がわからない場合は、会社の専門家に相談してください。

**外部からの視点を考える。** 自分が尊敬している相手に対して胸を張って自分の行為を説明できますか？ 取材記者に対してはどうですか？

**他の選択肢はあるか？** 自分が考えている解決策とは異なる選択肢を見つけることが可能な場合は多いものです。

これらを考慮してもわからない場合は、上司やエスターラインの倫理アドバイザーに相談してください。

### なぜ規範があるのか？

本規範は、世界各国で事業を展開するエスターラインが、その方法を管理するために必要な会社方針および法的要件に関する指針です。私たちが共有する価値観を明確にし、主要な分野における当社の基準を説明しています。

### 規範の適用対象は？

本規範は、エスターラインの従業員、マネージャー、幹部、取締役を含めた全員が対象となります。また、合併事業を含めたあらゆる事業所、当社が業務を行うあらゆる国および管轄区域で適用されます。会社方針や手順書も本規範を支えるものとなります。

また、エスターライン社外の特定の個人あるいは組織が、当社の代理として表明する場合やエスターラインの業務を行う場合には、常に本規範が適用されます。例えば、当社の業務に従事する臨時契約社員は適用対象となります。また、当社のお客様や市場と取引を行う独立販売代理店にも適用されます。エスターラインは、正規に認められた優良な代理店のみと取引を行っていますが、これらの代理店も当社の代理として業務を遂行する際には当社の倫理的行動および法的準拠に関する基準を遵守することが求められます。すべてのサプライヤーと第三者に本規範が拡大適用されることはありませんが、当社は価値観を共有し得るビジネスパートナーを選択するように努めています。

本規範の規定は、何人たりとも例外は認められません。また、上司であれ、CEOであれ、規範に従わないように指示することはできません。

### 質問があるときや懸念事項を報告する際の連絡先は？

規範に関する質問がある場合、または規範に抵触するかもしれないという懸念がある場合は、懸念事項について上司または倫理アドバイザーに相談できます。また、ヘルプラインに電話で相談することも可能です。

本規範の最後のセクションに、エスターラインの倫理に関する相談先の一覧が記載されています。質問の種別ごとの連絡先も掲載されていますので、ご覧ください。

### 正直に報告した場合の結果はどうなりますか？

問題があると思われる場合は声を上げるという皆様の協力を、当社は真に必要としています。実際のところ、声を上げることにより、当社が事業を適正に運営していくための助けになるのであれば、それは、みなさんの任務の一つでもあるのです。

不安を感じる必要はありません。エスターラインは、本規範、ポリシーまたは法律に抵触する可能性がある行為が、実際には問題にならないことが判明した場合でも、善意による正直な報告者に対する脅迫または報復を厳しく禁じています。また、当社は調査に情報を提供するすべての人を守ります。報復のおそれがある場合、またはそのような不安を感じたときは、規範に対する他の違反と同様に報告してください。

### 規範の放棄に関する注意事項:

まれに本規範の放棄が適切と判断される場合があります。そのようなときには、エスターラインの最高倫理責任者またはその被使命人により規範要件の放棄が認められることがあります。ただし、当社の価値観および適用される法律と、例外による放棄が矛盾しないことが条件です。部長職あるいは取締役による放棄は、取締役会により承認されなければならないが、また適用される法律に従って速やかに開示されるものとしします。

例えば、明白な利益の相反を排除することが実際的ではなく、しかし独立した公正な第三者によって特別に監視管理されている場合、放棄が適切であると認められることがあります。



### マネージャーの皆様へ

マネージャーおよび管理職は、エスターライン流が確実に実践されるための重要な役割を担います。誤った方向に向かっている兆候は、初期に上司が気づくことが多いものです。

管理職またはマネージャーの皆様は、以下の点に留意してください:

- 倫理的行動の模範となる。
- エスターラインのコアバリューを常に行動に反映することの重要性をチームに理解させる。
- 従業員にトレーニング、教育およびリソースを提供して本規範の遵守をサポートする。
- 懸念がある場合は率直に話すよう従業員に促す。
- 以下に挙げるような重大な過失や不正は倫理担当者に報告する義務があることを理解する。

- エスターラインの商権ポリシー、または米国の ITAR (武器国際取引規則)、またはその他の国家安全保障ないし貿易コンプライアンス関連で適用される規制に抵触するおそれがある場合
- 製品の品質またはデザインの欠陥に関する怠慢または隠蔽
- 贈収賄または詐欺の疑い
- 財務報告または価格決定方式に影響する可能性がある過失または不正
- 会社に行政処分が科される可能性がある行為または過失
- ハラスメントまたは不公正な待遇の兆候

## セクション2：当社の価値観および原則



## 約束の実現

### 優れた製品品質

当社は、要求の厳しい用途での使用にも耐える、極めて信頼性の高い製品を製造しています。当社の品質基準は、販売する全製品および提供する全サービスに用いられます。手抜き、不注意、規制の抜け穴をくぐろうとする行為は許されません。

- ▶ **あらゆる品質要件を満たし、すべての品質管理手順に従う。**適用される仕様およびテスト基準をすべて満たす製品を作るように、業務に取り組んでください。品質管理をおろそかにしたり、無視するようなことがあってはなりません。
- ▶ **記録の改ざんを行わない。**すべての文書は正確かつ完全で、信頼できるものでなければなりません。証明書類が必要な場合は、必ず権限を受けた担当者が作成するものとします。
- ▶ **問題はすぐに報告する。**問題を放置したり、誰かが対応するだろうと考えないでください。

# Q:

現在製造の最終段階にある製品の出荷が迫っており、出荷するには証明書が必要です。しかし、証明書を発行できる権限を持った担当者に連絡が付きません。証明書なしで製品を出荷することはできるでしょうか？あるいは、代わりに証明書を作成できる担当者を見つけることができるでしょうか？



# A:

証明書が必要な製品の場合、権限を与えられている担当者が証明書を作成することが義務付けられています。このような権限を持つ担当者の数が非常に少ない場合もあります。証明書がない状態で製品を出荷することはできません。必要な証明書を作成できる権限が正式に与えられている人が他にいる場合のみ、権限を持つ別の担当者に証明書を作成してもらうことができます。そのような担当者がいない場合は、権限を持つ担当者が戻るまで待つしかありません。

以下に当社規範で禁じられている不適切な行為の例を紹介します:

- 社外で業務を行う監査人が女性従業員に特に注目し、身体や容姿について頻繁に口にする。
- 作業グループの何人かの従業員が同じグループの1人を避ける。その従業員が困っていることがわかってもアドバイスをしなかったり、質問を無視したり、昼食時に一緒に座らないようにしたり、その従業員のプライベートに関するうわさを流したり、会議中に発言を遮ったり、その従業員の意見を批判したりする。
- 外国人の従業員が、最終的に選ばれた他の候補者よりも優る資格を満たしているにもかかわらず、何度も昇進を却下される。

### 製品の安全性

当社製品は、安全性、性能および信頼性を考えて設計されています。利用者の生命が製品にかかっていることも少なくありません。当社製品の安全性を確保することは、私たちの責任です。この事実を真摯に受け止め、私たちは安全性を設計、開発および製造における最優先事項とします。

### 納期の厳守および文書の正確性維持

当社は製品およびサービスに関する信頼性を重視し、高い基準を設定しています。すなわち、高品質の製品を提供すること、正確で誠実な業務の遂行、および納期を守ることが含まれます。

## 互いに信頼し、尊敬し合う

### 常に敬意を払う職場環境

世界各国で業務を行う当社の従業員およびビジネスパートナーは、その背景や考え方、習慣、能力などが様々です。私たち1人1人に、不作法や失礼な行為、差別的、ハラスメントとみなされるような行為を慎むことが求められます。

- ▶ **常に敬意を持って人に相対する。** 同僚、部下、上司に対してだけでなく、顧客、サプライヤー、契約事業者その他に対しても礼儀正しく敬意を払って接してください。敬意を欠いた失礼な行動は、法律に抵触するおそれがあることを忘れないでください。
- ▶ **嫌がらせをしない。侮辱したり、傷つけたりしない。** 皆が最高の仕事ができるよう、私たち全員の力をもって、公正で快適な職場環境を築いていきます。性的な言動、いじめ、悪口などいかなるハラスメントも認められません。
- ▶ **採用、昇進およびその他の雇用判断は有益性に基づいて決定する。** 当社は適用されるすべての雇用法を遵守します。採用および昇進は、性別、人種、障害の有無、宗教など業務に関係のない個人の特徴によるのではなく、功績に基づいて決定されなければなりません。当社が業務を展開する多くの地域では、このような個人の特徴に基づいた雇用判断は雇用法に抵触する恐れがあります。

**Q:** 私はエンジニアです。重要な顧客のために複雑な技術プロジェクトに関わっています。しかし最近、社内の別のプロジェクトチームが、その顧客の競合他社のために非常によく似たプロジェクトを進めていることを知りました。どちらも、優れたソリューションを実現させるために技術的な問題に直面していますが、2つのプロジェクトはとてもよく似ているので、私たちは情報を共有して双方の考え方を取り入れることができるでしょうか？



**A:** 状況によります。競合する会社のためにプロジェクトを進めているため、協力により、いずれかの会社の機密情報が不当にライバル社と共有されてしまう恐れがあります。もう一方のプロジェクトチームと話し合いを持つ前に、倫理担当者に状況を伝えて、指示を仰ぎましょう。

#### 職場の安全性

当社は業務の安全性および営業活動のすべてにおいて高い基準を設け、全従業員が当社の取り組みを共有し、自分自身とお互いを危険や損害から守るために助け合うことを期待します。

#### 情報保護とプライバシー

顧客、従業員、サプライヤー、またはその他のビジネスパートナーから受け取った情報、あるいはそれらに関する情報を保持する場合、またはそのような情報を業務で取り扱う場合は、情報を適切に保護しなければなりません。多くの国は、プライバシーと個人情報の保護に関して詳細に定めた法律および規制を導入しています。これらの基準に従わなかった場合、個人を傷つけたり、業務上の関係が損なわれたり、法律に違反する恐れがあります。

#### 知的財産および機密情報の保護

業務を遂行する中で、私たちはサプライヤー、顧客、エスターライン、または政府が所有する機密情報または専有情報を取り扱う場合があります。適切な許可および正当な業務上の理由なく機密情報または専有情報を利用したり公開することは禁じられており、当社の業務または当社の顧客やサプライヤーの業務に支障をきたすおそれがあります。



忘れないでください:

エスターラインは、契約上保護を義務付けられている顧客や、政府の資産を保持することが多くあります。エスターラインのネットワーク設備を保護することは、このような情報だけでなく当社の情報に対する安全対策にもなります。

さらに、他者が所有する知的財産権は尊重しなければならず、許可を得ずに業務に使用することはできません。

- ▶ **機密情報および知的財産権を守る保護条項には必ず従う。**
- ▶ **機密要件を守る。** 当社入社時に署名した機密情報契約、発明契約、または同様の契約を守りましょう。会社の情報が機密情報かどうかの判断が難しい場合は、機密情報として扱います。
- ▶ **機密情報を開示してよい場合は、業務上「知る必要」があり、情報を共有する権限が自分に与えられている場合に限りです。** 業務上その情報を知る必要が認められない相手(当社従業員を含む)に機密情報を開示してはいけません。この規則は、当社退職後にも適用されます。
- ▶ **情報の公開は適正な手順に従って行う。** 機密情報を共有する前に、情報受領者による機密保持契約書への署名が必要かどうかを確認します。

### 会社資産の保護

従業員は、会社の資産および資源を保護し、これらの資産を適切に利用する責任を負います。資産には、財務資産および建物、車両、コンピュータネットワークなどの物的資産があります。

- ▶ **会社の資産は許可された業務目的のみに使用する。** 場合によっては、インターネットや電話の使用など、限られた範囲での個人使用が許可されることがあります。しかし、ほとんどの場合、エスターラインの資産は担当業務に関連する認められた業務目的以外には使用してはいけません。
- ▶ **あらゆる安全対策に従う。** 安全対策には、来訪者のセキュリティチェックと受付手続きを行うことや、特別な管理を必要とする製品や区域のアクセス制限に十分な注意を払うことなどが含まれます。
- ▶ **当社のネットワークおよび情報システムを保護する。** 特に社外において業務を行う場合は、すべてのITセキュリティ要件を守ってください。また、システム使用の際に違法、ハラスメント、攻撃と見受けられるような使い方をしてはなりません。

### エスターラインのために発言する

エスターラインは、一貫性のある明確なメッセージを発信できるよう、限定された担当者だけに公の場での会社に関する発言を許可しています。これは、当社の事業および立場を正確に一般社会に伝えられるようにするためです。

- ▶ **マスコミの取材を受けたり、エスターラインの代理として公式声明を出さない。**ほとんどの従業員は、会社について公式に発言する権限がありません。通常は、エスターラインの企業広報部がプレスリリースの発行、メディアからの質問への対応、公的な関心事に関する声明の手配を担当します。その他の従業員はエスターラインによりこのような広報活動に特別に任命された場合にのみ、これらの活動に関与します。
- ▶ **特別な許可を受けたコーポレート部門の従業員を除き、社外への財務情報の開示は禁止される。**当社は株式公開会社であり、財務情報の公開について定めた法律を遵守する必要があります。エスターラインのコーポレート部門による許可を受けた担当者のみが、社外に財務情報を公開することができます。

- ▶ **ソーシャルメディアの利用は慎重に行う。**今日のテクノロジー社会では、まったく気づかないまま、あるいは意図せずに情報を流したり、会社の代理として発言してしまうことが起こりえます。問題を未然に防止するため、ソーシャルメディアで会社や業界の動向についてコメントすることは避けてください。また、現在関わっている業務プロジェクトに関する情報をオンラインで共有しないでください。さらに、以前の業務で関わった特定の人物や組織をソーシャルメディアで推奨することは、エスターラインからの推薦と認識される可能性があるため、慎んでください。

### ソーシャルメディアの適切な使用

ワイヤレス通信、ウェブ技術およびソーシャルネットワークメディアは、情報通信によりアイデアや体験を共有する機会を無数に提供します。職場で個人用無線機器を使用したり、オンラインソーシャルネットワークに参加する場合は、専門的な判断と責任を有し、他の従業員への配慮を持って行いましょう。

- ▶ **オンラインではプライベートと社会人としての立場を使い分けましょう。**個人的な投稿で自分の身分や現在のプロジェクトに言及することは慎んでください。



## メモ：

エスターラインでは、特定の個人が会社の代理としてロビー活動に関わることを明示的に認めています。本規範のこの部分は、従業員による個人的な政治活動について述べたものであり、当社の業務、従業員または顧客に利益をもたらすことを目的とした会社が支援する政治活動は含まれません。

- ▶ **当業界に関わる公式コメントは避ける。**業務の一環として認められている場合を除き、会社、顧客、または業界全般に関する意見や情報は投稿しないことが望ましいです。
- ▶ **記録が残る。**オンライン投稿の多くは数年後でもアクセスが可能です。知り合い同士の少数のグループに宛てたコメントが予想に反して大勢の人たちに読まれてしまうこともあります。

### 地域活動、政治への関与、および政治献金

個人的な立場にある一市民としての市民活動や政治活動への参加は奨励されます。しかし、そのような活動に関わる場合は、会社の代表としてではなく、あくまでもプライベートな立場の一個人として行わなければなりません。また、このような活動が業務上の職責に影響しないように注意する必要があります。会社が特定の慈善目的活動を認める場合もありますが、個人的な関与に会社の支援は期待できません。

- ▶ **政治活動はプライベートの範囲に限定する。**会社が講演する活動に関わる場合を除き、政治活動および地域活動への関与はプライベートの時間に限定するようにしてください。勤務時間中の政治活動や、政治目的の資金調達、立候補者の選挙活動などは慎んでください。
- ▶ **エスターラインの資金や資産を使用しない。**政治政党、選挙運動または慈善目的のために会社の施設、設備、資金またはその他の資産を使用する場合は、事前に承認を受ける必要があります。また、承認を受けずに会社の資金や名前を使って政治活動や慈善募金活動を行ってははいけません。
- ▶ **個人的な立場で行っている政治活動にエスターラインでの地位を利用しない。**例えば、マネージャーが政治献金や特定の投票を行うように部下に圧力をかけたりしてはいけません。

## 健全性と倫理的行動の活用

### 業務上のもてなし (贈答品、娯楽および接待)

少額な贈答品や高額でない接待および娯楽などの業務上のもてなしを提供することは、取引先との良好な関係を築くために適切な手段と考えられます。しかし、接待を提供する状況をよく考えて的確に判断することが重要です。

高額な贈答品や娯楽、過度な接待によりビジネスを有利に進めようとしていると思われることは避けたいものです。そのように思われれば、市場における当社の信頼と評判の低下に影響しかねません。

- ▶ **業務上の接待は適切に行う。** 通常、業務上の接待は、妥当な価格でのレストランでの食事や粗品など、高額でなく、控えめで回数もそれほど多くないものです。また、一般的には、もてなしとして提供されるのではなく、会議中の昼食のように業務の中で提供されます。しかし、「妥当」の定義は状況によって変わります。業務として適切な判断を行ってください。業務上のもてなしが適切であるかどうか見当がつかない場合は、接待を提供する前に上司または倫理アドバイザーに相談し、指示を仰いでください。
- ▶ **現金または現金に相当する品の贈与は禁止。** 業務上の接待として、現金またはギフトカード、商品券、貯蓄債権など現金に相当する品の贈与は不適切です。
- ▶ **必要に応じて許可を得る。** 取引先に贈答や接待を行う前に、許可を得てください。場合によっては、書面による許可が必要なこともあります。また、現地の習慣や法律に照らし合わせて支出額が適正であることを確認します。
- ▶ **「見返り」を求めるような状況は避ける。** 相手先の業務上の判断に影響すると思われるような贈答品、娯楽または接待の提供は避けてください。購買の判断と同じタイミングで娯楽や贈答品を提供したり、特に見返りを期待していると思われるような状況は避けましょう。
- ▶ **すべての支出を適切に記録する。** 贈答品、娯楽、接待に関する支出は、帳簿に正しく記録する必要があります。支出を隠蔽したり、改ざんしたりしてはなりません。

### 業務上のもてなしを受ける

他者に不適切な影響を与えないようにすることも重要ですが、私たち1人1人が、当社の業務上の判断に影響すると思われる場合は、贈答品や接待を受けないようにしなければなりません。このことは、受け取ったとしても中立的な判断が可能で差し支えない、と思われる場合にも当てはまります。

- ▶ **少額の贈答品および接待は可能。**心遣いまたは社会的礼儀を表す少額の場合は、業務を進める中で、しばしば提供されることがあります。高額であったり、提供回数が多い接待や贈答品は辞退しましょう。少額であっても回数が重なると高額になります。
- ▶ **文化的背景を考慮する。**文化が異なる地域や海外で事業を展開する場合は、何が適切であるかを理解するために、指示を仰ぐことが必要か否かを考えます。
- ▶ **迷ったときは辞退する。**特に、以下のような場合は辞退しましょう：
  - 現金または現金に相当する品。
  - 優遇を受けるためなど、不適切と思われる提供。

Q:

先日、1週間ほど航空ショーのお手伝いをしました。その後、当社の顧客である航空ショーのスポンサーからそれほど高価ではない腕時計が郵送されました。このようなプレゼントは辞退する必要がありますか？



A:

状況によります。まず上司または倫理アドバイザーに相談しましょう。判断するには、腕時計の価格やあなたが顧客に関係のある決定を下す立場にあるかどうかなど、様々な要因が影響します。贈答品を受け取ることができる場合もありますが、礼儀正しく辞退して、返戻することが適切な場合もあります。もし失礼になるようでしたら、慈善団体に寄付したり、慈善を目的とした会社のくじ引きの賞品として提供する方法もあります。

- エスターラインによる購入判断と同時期の提供。特に自分がその決定に関わっている場合。
- 過度に高額な贈答品または接待。提供される物の価値を調べるために情報の収集が必要になる場合もあります。例えば、スポーツイベントに招待された場合や、ワインを送られた場合などです。価格が高額すぎる場合は、申し出を辞退するか、贈答品を返送します。
- 取引先の個人からの融資手配や融資返済の申し出。(社会的に認められている金融機関による通常の市場融資は対象になりません。)
- サプライヤーによる通常取引外支払またはキックバックの提供。そのような申し出があった場合は、上司または倫理アドバイザーに必ず報告してください。
- サプライヤーまたはその他のビジネスパートナーからの無償または割引価格での製品あるいはサービスの提供。

### 贈収賄および腐敗行為

当社は健全に業務を遂行しています。また、事業の成果は製品とサービスの優秀性にかかっていると私たちは信じています。贈収賄およびその他の腐敗行為は世界中どここの事業であれ、絶対に許されません。

エスターラインは、地域の習慣や慣行によらず、賄賂、キックバック、その他の不適切な支払いを提供したり、受け取ることはいたしません。また、行政担当者による日常業務を迅速に進めるために行われる非公式の少額な「円滑化のための支払い」も、当社では認められていません。良心から行われる行為であったとしても、重要なのはその行為が、周囲からどのように思われるかを考えることです。賄賂と思われるれば、当社の評判を損ねます。

- ▶ **あらゆる贈収賄防止法を遵守する。**当社が事業を展開するほとんどの地域では、贈収賄は違法行為にあたります。さらに、米国の海外腐敗行為防止法や英国の贈収賄防止法などの法律は、他国の行為に対しても国境を越えて適用されます。贈収賄には厳しい罰則が科せられ、関与があった会社と個人の両方に法的責任が問われます。



## 贈収賄を知る

贈収賄防止規制は非常に厳しく制定されています。多くの場合、提供される価値が非常に少額であったり、エスターラインが得られる便宜がほとんどなくても、そのような点は問題になりません。その提供が見返りとして業務上の便宜を期待して行われた場合、提供物の価値に関係なく、そのような行為が贈収賄とみなされる可能性があります。

以下のような場合は贈収賄にあたります：

- 有形無形を問わず価値のあるもの
- 約束、供与、要求、要望または受領があった場合
- 直接または仲介者を介する

- 権限と責任を持つ立場にある個人に影響を及ぼすことを目的とする。公務員も含まれるが、これに限定されない
- 業務を不適切に遂行する、自由裁量権を不適切に行使する
- 便宜供与が不適切であることを認識している

エスターラインは、不適切な便宜を得ることを目的としたあらゆる有価物の提供を禁止しています。例えば、権限と責任を持つ立場にある個人にその裁量を不適切に行わせることを目的とした場合などが該当します。

- ▶ 「賄賂」には幅広い定義があることを理解する。賄賂とは、あからさまな支払いや金銭の提供だけに限りません。ここには、特に取引において優遇を受けるために、法外な割引、旅行の招待、過度な接待、自動車または金銭の貸与、講演料、コンサルタント契約など、何らかの価値があるものを提供することなどが含まれます。
- ▶ 公務員との関係においては特に慎重に行動する。多くの国では、従業員(またはその代理となる営業担当者やコンサルタント)が公務員に価値あるものを提供することを禁じる非常に厳しい規制を設けています。
- ▶ 取引の相手が「公務員」かどうかを必ず把握しておく。一部の国では、当社は準政府企業との取引も行っています。このような組織では取引を担当する管理職を「公務員」とみなし、特に慎重に対応する必要があります。

- ▶ **キックバックを提供しない、受け取らない。**  
「キックバック」とは、取引と引き換えに販売者が購入者に提供する非公式な割引など、通常取引以外の支払いや隠された便宜提供です。これは賄賂の一種で、不法行為にあたります。キックバックの申し出があった場合は、これを断り、すぐに上司または倫理アドバイザーに報告してください。
- ▶ **直接行うことが禁止されている行為を間接的に行おうとしない。**自分が禁止されている行為を、営業担当者やその他の仲介者に行うように指示してはいけません。同様に、公務員の雇用が禁じられている場合は、対象となる公務員の家族も雇用することはできません。
- ▶ **営業担当者、コンサルタント、ブローカー、当社の代理として活動するその他の第三者に当社の方針を周知する。**ほとんどの腐敗行為防止法は、当社だけでなく当社の代理として活動する第三者にも適用されます。当社のポリシー、あるいは法律に抵触するような行為を依頼することはしないでください。第三者を監督したり、第三者と業務を行う場合は、贈収賄の兆候がないか注意深く観察してください。場合によっては、従業員のみなさんが、個人的に第三者の過失または贈収賄の責任を問われるおそれもあります。

#### 正確な報告と記録

すべての情報伝達および記録は、正確かつ業務上適切で、信頼できるものでなければなりません。記録は記録管理ポリシーに従い、確実に維持管理と保存を行う必要があります。

故意であれ、不注意であれ、虚偽の記録を作成してはいけません。隠蔽を目的とする記録の改ざんや隠匿は行わないでください。記録を変更する場合は、必ず定められたプロセスに従い、変更内容とその理由を記録して承認を受けます。

会社による従業員の個人情報、人事管理ファイル、および電子通信記録の保管について、厳しい規制が設けられている国があります。これらの規制は遵守しなければなりません。

会社の記録とみなされる例をいくつか紹介します：

- 勤務時間および出勤簿
- 製品試験結果あるいは証明書
- 経費報告書
- 顧客への請求書
- 送り状および出荷書類

以下のものも記録とみなされます：

- 業務用コンピュータのビジネスメール
- 会議中に作成した手書きのメモ
- 人事記録
- 会社のモバイルデバイスに残っている業務上の通信記録
- ERP、CRM、HRIS などの様々なコンピュータシステムに保存されているデータ
- 技術図面および仕様書

## メモ：

財務記録の改ざんは、たとえ少額であっても、非常に厳しく対処されます。当社の財務会計において、50ドルのミスはさほど問題になりませんが、50ドルの隠蔽は大きな問題になる可能性があります。

## 公正な財務記録

私たちは、業務運営と業績に関して公正かつ透明性を維持しています。当社の財務諸表、帳簿、および記録は、金額の大小に関わらず、すべての取引を正確に反映しています。

- ▶ **会社の会計ポリシーおよび手順に従う。** 会社の経営陣は、社内のあるゆるレベルから集められた財務記録を基にして経営判断を下し、当社の取引関係者に向けた報告書や行政機関への申請書類などを含めた外部報告書を作成します。当社はエスターライン要件および米国会計基準 (GAAP) に従って情報を記録し、保管のうえ報告します。
- ▶ **財務会計処理の際には適切な書類を提出する。** 例えば、経費報告書を提出する際にはそれを裏付ける領収証が必要です。
- ▶ **隠蔽、改ざん、もみ消しに関わらない。** 財務会計に関わる不正行為は固く禁じられています。資金は必ず文書に記録されている通りの目的のみに使用します。エスターラインの資金を「裏金」にしたり、当社の帳簿や記録に記載しない「帳簿外」の資金にすることは不適切です。
- ▶ **注意を払い、正確を期す。** 財務記録に関するすべての記録は正確に行うよう注意してください。原価情報のために必要なERP 記録の誤記や、記入漏れのような些細なミスでも、長期にわたれば積み重ねになります。記入漏れや誤記入のある記録は、重大な誤解を招いたり、不正行為と思われることもあります。

### 利益の相反および不適切な影響

当社は疑問の余地がないように、誠実さを持って意思決定に当たらなければなりません。顧客、サプライヤー、競合企業および従業員に公正に対応することは、私たち1人1人の義務です。当社の業務判断を行う個人または業務判断に影響を及ぼす立場にある個人は、個人的な利益の相反の可能性に常に注意する必要があります。同様に、個人的な利益を得られる可能性のある場合でも、会社の利益に反するような行為は避けることが求められます。

- ▶ **問題になるおそれがある副業は避ける。**社外で副業を持つ従業員は、その業務内容がエスターラインにおける業務に不利益を生まないことを必ず確認してください。不利益とは、勤務スケジュールが重なる、生産性が低下する、会社の機密情報を明かしたり、利用する、などの事例が考えられます。当社のライバル企業、顧客またはサプライヤーに勤務することはできません。利益の相反を避けるため、基本的に副業は事前に上司に報告しましょう。
- ▶ **利益の相反を生む可能性がある投資は避ける。**ここでは、競合企業、ビジネスパートナー、またはサプライヤーと金銭に関わる利害関係を持つことも含まれます。

- ▶ **家族が関与する利害の相反を避ける。**以下に紹介する例は、いずれも利益の相反が生じる可能性があり、管理職に報告して判断を仰ぐ必要がある場合です。
  - » 家族または社会的なつながりや個人的なつきあいのある相手に関する採用の可否を担当または判断する
  - » 家族または個人的に親しい相手が当社に勤務している場合に、人事情報にアクセスする、採用または昇給・減給に関する権限を行使するまたは決定に影響を及ぼす
  - » 自分、家族または個人的に親しい相手が多大な個人的利益を得られるような状況で、エスターラインの代表になる
- ▶ **調達先の選定、落札および契約交渉では最善の倫理基準を適用する。**当社は、性能、品質、納期に関する当社要件を満たす材料・製品およびサービスのみを購入します。また、当社はサプライヤー間の競争を奨励し、要件を満たしたうえで最低価格を提示したサプライヤーから購入します。

### 利益の相反

利益の相反は、個人的な利得、活動または関係が業務に影響している、または影響を及ぼすと考えられる場合に発生します。個人的な利益により客観的かつ公正な判断による職務の遂行に支障をきたすような状況には特に注意する必要があります。



## エスターラインの考え方:

当社は十分に要件を満たした応募者を採用すること、最高のベンダー、サプライヤー、およびパートナーと協力して事業を進めていくことを目指しています。能力よりも個人的な関係を重視して判断を下すことは、当社の事業を弱体化させ、営業活動の環境を損ないます。

管理職や購入を決定する立場にある従業員全員が、この倫理項目における当社の方針を理解しなければなりません。求人応募者、他の従業員、またはビジネスパートナーと個人的に何らかの関係がある場合は、速やかに上司または倫理アドバイザーに関係について報告してください。会社が利害の相反の可能性があると判断した場合は、すべての決定から距離をおくことが求められます。

- ▶ **会社の利益になる可能性がある機会を個人的に利用しない。**業務においては、会社の利益を追求することが求められます。業務に携わる中でエスターラインに利益がもたらされる機会について知った場合に、会社の利益を犠牲にしてそのような機会を個人的に利用することは許されません。
- ▶ **社外での専門的活動は報告する。**社外の会議での発言、記事の出版または産業界の委員や役員への就任を希望する場合は、速やかに上司または倫理アドバイザーに連絡してください。会社が状況を検討し、社員としての役割を明確にし、社外への関与を認めるかどうかを決定します。
- ▶ **利益の相反を明示して、それらを解消するよう務める。**利益の相反があることに気づいた場合や利益の相反と認識される可能性がある状況が発生した場合は、そのことを明らかにし、会社と協力して利益の相反を解消するよう務めることが求められます。

## 法律と規制への準拠

### 公正な競争

当社が事業を展開する多くの国では、競争が公明正大に行われるように法律が制定されています。

どの国においても言えることですが、競合他社と、競争を妨げる可能性がある合意を行ってはなりません。同様に、当社と競合する企業に関する情報を集めるために倫理または法律に反する手段を用いてはなりません。

- ▶ **競合情報または機密情報をライバル会社と共有しない。**競合会社と情報を共有することは、反競争的協力に関する罪に問われる可能性があります。当社の業務に関する情報は、内密にしておくことが重要です。営業用パンフレットに記載されている内容や、展示会の展示内容以外のことは、口外しないように心がけましょう。ここには、価格に関連する話題(実勢価格、割引実施予定、原価、サプライヤー、顧客、製品、販売区域、市場、生産能力、取引条件など)も含まれます。

- ▶ **競合会社との会合にはリスクが伴うことを意識する。**両者に法を犯す意識がなくても、気の置けない場では談合的な話し合いが行われやすいものです。ライバル会社も参加する業界のイベントや会合に出席する場合は、必ず不正競争防止法の内容を把握しておきましょう。競合会社が競争に関する話題を出そうとしてきたら、そのような話題には触れたくないことを伝え、すぐに話を終わらせるようにしましょう。上司または倫理アドバイザーへの報告も必要です。
- ▶ **競合情報は適切なルートのみから収集する。**競合会社に関する情報を集めることが適切な場合であっても、情報収集は合法的かつ適切な手段で行う必要があります。うそをついたり、法律や倫理に反する手段を用いてはなりません。すでに知っている、または不適切な手段で取得したと思われる競合情報の提供に関しては、情報の提供を断り、報告してください。



### 公正な取引に関するメモ:

当社の顧客、サプライヤー、競合企業および従業員に公正に対応することは、私たち1人1人の義務です。部外秘情報の改ざん、隠蔽、悪用、事実の詐称、その他の不公正なふるまいによって、他者を不公正に利用してはなりません。

### インサイダー情報と証券取引

内部情報に基づく取引は、違法行為であり、エスターラインのポリシーに反します。会社と関与した個人の両方に、重大な処分が科せられる場合もあります。

- ▶ **エスターラインの内部情報を知った場合は取引を避ける。**未公開の重要な社内情報を知っている場合は、当社株式の売買を行わないでください。
- ▶ **内部情報を共有しない。**業務の一環として妥当であると認められた場合を除き、当社または当社以外の株式公開企業に関する重要な非公開情報を開示しないでください。情報を共有した相手がその情報に基づいて取引を行った場合、「漏えい」の責任を問われる場合があります。

- ▶ **他企業の内部情報を知った場合は取引を避ける。**エスターラインの業務の一環として他企業の内部情報を知る機会があるかもしれませんが、非公開の重要情報を知り得た場合は、あらゆる株式公開会社の株の売買を行わないでください。

自分の持つ情報が、投資判断の制限に影響する内部情報に該当するかどうか分からない場合は、必ず上司または倫理アドバイザーに相談してください。役員および部長職は特別な役職であり、そのような役職にのみ適用されるインサイダー取引ポリシーの対象になります。



**Q:** 内部情報とは何ですか？

**A:** 公開されると会社の株式に重大な影響が及ぶと考えられるあらゆる情報です。いくつかの例を紹介します：

- 非公開の販売情報またはその他の財務データ
- 重要な人事異動
- 訴訟または行政調査の開始または決定

エスターラインまたはその他の企業に関するそのような情報を知っている場合は、株取引を行わないようにしてください。

**Q:** 従業員自社株買取選択権制度にも適用されますか？

**A:** 自社株買取選択権制度の通常取引(事前に定められた長期にわたる定期的な購入)では、インサイダー取引の心配はありません。しかし、エスターラインに関連する内部情報を知っている可能性があるとして自分で判断した場合は、制度への新たな参加や株式保有に関する変更(出資金の増額や株式の売却など)は見合わせる方がよいでしょう。

ご存知でしたか？

輸出規制は以下のものにも適用されます：

- ハードウェア
- ソフトウェア
- 設備のサポート
- 設備のテスト
- サンプル
- デモンストレーション用装置
- 技術データ(書面または電子データ)、口頭でのやりとり、図面または写真
- 技術(携帯電話やノートパソコンを持ち運んで国境を越えることも含まれます)

技術は、技術情報が国外の個人または団体に伝わった時点で輸出されたこととなります。米国発祥の技術については、米国内の相手に伝えた場合でも輸出に該当する場合があります。その場合は、技術情報の伝達手段(対面、電話、FAX、電子メール、郵便、その他の手段)を問わず該当することになります。

### 輸出入および貿易のコンプライアンス

当社は、重要な航空・防衛関連製品を製造するグローバル企業として複雑な国際貿易の世界に身を置いています。国際貿易は、非常に厳しい規制がおかれている分野です。輸出入規制の関連条項が適用される状況を認識し、見当がつかないような場合でも、社内の人と協力して適用されるあらゆる法律および規制にどのように準拠すればよいかを把握する必要があります。

- ▶ **貿易コンプライアンスの本質を理解する。**貿易コンプライアンスには、政策や国家安全保障を理由として、重要性の高い技術、技術データ、ソフトウェア、設備、情報、およびサービスの国や地域への販売を制限する規制が関係します。貿易コンプライアンスに関連する問題としては、技術供与、管轄区域および分類、取引禁止対象者の確認、拡散リスク、および技術データの譲渡などが挙げられます。
- ▶ **輸出とみなされる取引の範囲を理解する。**「輸出」の定義は広く、製品の配送と情報の移動(電子メール、インターネットへの投稿、口頭での情報伝達など)のいずれもが含まれる場合があります。特定の技術を国境を超えて運ぶことは、輸出とみなされます。例えば、携帯電話のソフトウェアやノートパソコンに保存された電子文書なども該当します。

- ▶ **貿易管理により特定の品物の発送や情報の提供が制限される可能性があることを認識する。**特定の製品または技術の輸出には、事前にライセンスの取得が必要な場合があります。技術情報をインターネットに投稿したり、国外の相手(エスターライン従業員を含む)に電子メールで送信したりする行為は規制の対象となる可能性があります。また、現地の法律により販売が全面的に禁止されている場合もあります。
- ▶ **武器輸出管理法(AECA)または武器国際取引規則(ITAR)に違反しないように気をつける。**AECAまたはITARへの抵触は、訪問者管理、ブローカー業務またはITネットワーク管理などにおける比較的単純なミスから生じます。業務活動がAECA/ITARに抵触する可能性があると思う場合は、社内の貿易コンプライアンスの専門家に相談してください。
- ▶ **制裁および不買要求への対応を知る。**貿易コンプライアンスは複数の規制の内容が対立することもある複雑な領域です。特定の国または国民との取引を控えるような要求があった場合や、現在その国や国民と取引がないことを証明する要求があった場合は、対応する前に社内の貿易コンプライアンスの専門家に相談してください。

### 行政機関との契約 (政府契約)

当社が行政機関と契約を交わした業務に携わる際には、調達に関する様々な法律および規制の対象になります。その場合の要件は国によって異なります。多くの場合、これらの法律および規制では、本規範や商取引に関連する当社のポリシーより厳しく複雑な基準が設けられています。例えば、一部の政府契約法では、顧客となる可能性のある行政機関に対する原価および価格設定データの提供が義務づけられています。このような情報は、民間企業との取引では通常開示されません。

政府契約および下請け契約の業務に携わるすべての従業員は、本規範と当社のポリシーの基準に従うだけでなく、追加の要件および規制を把握し、それに従わなければなりません。特に政府契約のプロジェクトに関する記録については高度なレベルの正確性が求められます。すべての伝達事項および記録は、正確で漏れがなく、最新の情報でなければなりません。ここでは、すべての提案書、見積書、申し立て、証明書、試験結果、請求書、および関連する作業時間の記録などが対象となります。

### 環境コンプライアンス

当社は責任ある企業市民として、健康を守り、自然を保護し、地域と世界の環境を保護することを目指した営業活動を行っています。

事業判断においても環境保護を考慮し、リスク管理とコスト効率に優れた管理業務を行っています。

### 人権

エスターラインは基本的人権の尊重に取り組んでおり、すべての人の尊厳と価値を重視しています。また、当社は世界中のすべての人々に公正さと敬意を持って対応します。子供の労働、過重労働、労働の強制または人身売買は認めません。当社は個人を見下すような扱いを絶対に許さず、安全な労働条件の提供に取り組んでいます。さらに、当社のビジネスパートナーは労働者の健康と安全に対する取り組みを行っていることを示す義務があり、人権法に準拠した業務運営を行わなければなりません。当社のサプライチェーンは、行動の監視と、コンプライアンスを確認できる透明性が必要です。

## セクション 3 : 誠実な文化の共有

エスターライン流とその高い倫理基準は、当社の成長と成功にとって不可欠です。私たちは、みなさんの知性、エネルギー、そして何よりも誠実な姿勢を必要としています。

どのように行動すればよいかわからないときは、答えを探すために一歩踏み出してみてください。本規範を読む、上司に話をする、倫理アドバイザーに相談するといった方法があります。エスターラインの倫理ヘルプラインやコンプライアンスヘルプラインはいつでも利用できます。秘密はしっかりと守られます。答えを見つけるための相談先がいくつかあることを忘れないでください。

本規範または法律に対する違反を知った場合、またはそのような行為が疑われる場合は、報告してください。

#### 倫理に関する相談先と利用方法

- ▶ **マネージャー:** 多くの場合、相談先の第一候補となるのはマネージャーや上司でしょう。職責に関連する本規範、ポリシーまたは法律の要件を明確にする必要があるとき、または本規範に抵触する恐れがある行為について相談したいときは、助力を求めましょう。
- ▶ **人事部:** 以下のような人事関連の懸念事項については、人事部に連絡してください。
  - » 雇用および昇進判断または業務実績の評価

- » 自分または他の従業員に対するマネージャーの行為
- » ハラスメント、不公正な待遇、悪口など職場の人間関係またはふるまいに関する問題

- ▶ **会社の倫理アドバイザー:** 倫理基準または法的要件に関連する問題について確認したい点がある場合は、倫理アドバイザーに相談してください。
- ▶ **人事担当副社長/コンプライアンス担当部長:** 上記の相談先では問題を解決できない場合や、これらへの相談に気が進まない場合は、人事担当副社長に相談してください。貿易コンプライアンス関連の問題に関しては、コンプライアンス担当部長に相談することもできます。
- ▶ **ゼネラルカウンスル:** どこに行っても問題が解決しない場合は、エスターラインのゼネラルカウンスルに連絡してください。

**倫理およびコンプライアンスヘルプライン:** 倫理およびコンプライアンスヘルプラインは、電話、手紙、Esterline.com ウェブサイトからいつでも利用できます。上記の相談先に相談するべきかわからない場合や相談しにくい場合は、最初の一步としてヘルプラインをぜひ利用してください。倫理およびコンプライアンスヘルプラインは、武器輸出管理法 (AECA) または武器国際取引規則 (ITAR) への抵触の可能性など、貿易コンプライアンス関連の報告も受け付けています。米国や法律によって認められたその他の特定の地域では、希望すれば匿名のまま相談することも可能です。

### ログオン先:

[www.esterline.com](http://www.esterline.com)

選択内容: Corporate Governance (コーポレートガバナンス) -> Ethics and Compliance Helpline  
(倫理およびコンプライアンスヘルプライン)

### 電話番号:

ベルギー	ドミニカ共和国	イタリア	シンガポール
00-800-1777-9999	00-800-1777-9999	00-800-1777-9999	00-800-1777-9999
ブラジル	ドイツ	日本 (英語)	英国
00-800-1777-9999	00-800-1777-9999	00-800-1777-9999	00-800-1777-9999
カナダ	香港	日本 (日本語)	米国
800-461-9330	00-800-1777-9999	00-800-1777-9999	800-461-9330
中国 (北部)	インド	メキシコ (英語)	
00-800-1777-9999	00-800-100-3428	00-800-1777-9999	
中国 (南部)	イスラエル	メキシコ (スペイン語)	
00-800-1777-9999	00-800-1777-9999	001-866-376-0139	

上記のリストに掲載されていない国については、エスターラインの倫理およびコンプライアンスヘルプラインポリシーをご覧ください。

### 手紙の宛先:

Ethics and Compliance Helpline  
Esterline Technologies Corporation  
500 108th Avenue NE, Suite 1500  
Bellevue, WA 98004

### マロルサン=ブリ (フランス) の宛先:

Ethics Select Committee  
Esterline Technologies Management France SAS  
7, ter rue de la porte de Buc  
7800 Versailles  
France

### EU 圏内における問題の報告

欧州連合 (EU) 加盟国で報告があった場合または同地域の従業員が報告の対象になっている場合は、EU および EU 加盟国の個人情報保護法および労働法に従う必要があります。フランス、ドイツ、およびベルギーでは、報告できる事案がエスターラインの倫理およびコンプライアンスヘルプラインポリシーで定義されている内容に限定されます。匿名での報告は推奨されません。報告は加盟国の法律に従って処理されます。

### 善意による報告の支援

善意から行われた報告は、当社の事業に悪影響を及ぼしたり、混乱を招くおそれがある問題について、当社が調査し、対応する一助となります。エスターラインは懸念事項を提起しにくい場合があることを認識しており、迅速かつ専門的で入念なプロセスにより、善意から懸念事項を報告した従業員を支援できる環境の整備に取り組んでいます。

すべての報告および懸念事項はただちに検証され、可能な限り守秘義務が尊重されます。違反があった場合は、会社が是正措置を講じます。調査の結果、違反はなく、報告者が状況を誤解していたり、報告者があらゆる関連情報を把握できる立場になかったことが明らかになる場合もあります。

当社は可能な限り公明正大に報告に対応します。しかし、個人情報保護やその他の重要な法的または業務上の理由から、問題の報告者に対しても調査結果を公開できない場合があります。いずれの場合においても、すべての報告に対して調査は必ず実施されます。

報告を行う従業員または調査に参加する従業員は、真実に基づいた情報を提供し、故意に虚偽の報告を行ったり誤解を招かないようにすることを求められています。他の不正行為と同様に、真実と異なる報告を故意に行った場合は、懲戒処分の対象となる可能性があります。

エスターラインは、善意から倫理に関する報告を行ったり、調査に信頼のおける情報を提供した従業員を対象とした報復や乱暴な行為を許しません。そのような状況にある個人への報復が判明した場合は、懲戒処分の対象になります。

